



堀 譲 議員
YUZURU HORII



こどもの予防接種助成事業

問 令和7年度はインフルエンザが蔓延し、学年閉鎖・学級閉鎖が各学校で起こった。罹患した子どもだけでなく保護者の方も大変である。助成対象を小中学生まで拡大したことに期待するが、接種率等も調査しながら、助成事業を継続してほしいが、どう考えるか。

答 令和7年度は、インフルエンザの流行期も早く長期化した。学級閉鎖も大幅に増加した。児童生徒の発病や重症化を予防し、学級閉鎖等を防いで学びの機会を確保するとともに、保護者が仕事を休まなくてもいいように、子育て世代を支援するものである。また、本市は、未就学児の接種率も高く、実績などを検証しながら、継続していきたい。

民間病児・病後児保育施設整備事業

問 子育て中の保護者にとって、子どもの病気が一番心配である。その事業施設はどのようなところで、どのような設備が必要なのか。

答 隣接する病院と連携し、病気の際や病気の回復期における生後6か月から小学校6年生までの子どもを預かる施設である。設備については国の基準があり、保育室、静養室等で、看護師、保育士が必要となる。

市民乗り合いタクシー運行事業
問 以前からの懸案事項である運行エリアの拡大について、実証実験として新宮地域で行われるが、その後はどのようにしていく考えなのか。

答 新宮地域の大規模病院が閉院したことから、区域外運行に強い要望があった。実証実験において、「実需要の把握」「コストの検証」等を行うとともに、民間事業者への影響についても検証し、本格実施に向けて、関係者等との協議・調整を進める。

その他の質問事項

● 養殖マガキ種苗購入補助経費

たつの公明

2026年度 施政方針



名村 嘉洋 議員
YOSHIHIRO NAMURA



問 龍野西一C周辺における新たな産業団地の事業化に向けた検討内容について伺う。

答 昨年度から龍野西一C周辺において企業立地ニーズ調査や開発事業者へのヒアリング調査等をおこなっている。来年度以降は、市内企業の移転を含めた企業誘致と民間企業による産業団地の整備を検討していく。

問 市民乗り合いタクシーの区域外運行における実証実験について伺う。

答 実証実験の結果を踏まえ、本格実施に向けて関係者と協議、調整を進めていく。公共交通の運営について持続可能な形で、利便性の高い公共交通の確立に努めていく。

問 インフルエンザ予防接種助成対象の拡大について伺う。

答 インフルエンザ予防接種の助成対象を従来の未就学児に加え、小・中学生を対象に拡大する。

接種率の実績や事業効果などを検証しながら、インフルエンザの感染と重症化の予防及び子育て世代への支援策として継続していく。

問 認知症予防として、かかりつけ医で簡易な認知機能検査を無料で受診することができる「もの忘れ検診事業」について伺う。

答 新たな取組として認知症をできる限り早い段階で発見、診断、治療に結び付け、継続的な医療や介護、地域での支援に繋ぐことを目的に60歳以上の市民が無料で受診できる。住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指していく。

問 たつの市こども家庭センターにおけるヤングケアラー支援について伺う。

答 ヤングケアラーを把握するため、教育委員会、市内小中学校と連携し、児童生徒を対象とした実態調査を行う。この調査を通じ、こども自身に気付きを与え、こどもの声を受け止め、寄り添いながら、必要な支援に繋げていく。

その他の質問事項

- 市の防犯対策に関する見解
- 中学校の部活動の取組みについて
- 本市への移住・定住の経済支援について
- 多文化共生社会に対する市の考え